



平成31年度 富士宮市立富丘小学校 グランドデザイン

国・県・市の施策

国 生き抜く力の育成、自立・協働・創造
 社会に開かれた教育課程の実現 カリキュラムマネジメント、主体的・対話的で深い学び
 生きて働く知識・技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養

県 有徳の人づくり、自立した人・関わる人・行動する人

市 「富士山を心に、夢をもって生きる子ども」
 アクションプラン「継承と発展」「縦の接続と横の連携」「環境素材の活用」・・・確かな学力、徳のある人間性、たくましい体

世界一通いたい学校に



子供は
 ・素直で明るく生き生きと活動できる
 ・目標を定めると一生懸命にできる

本校の強みとよさ

学校は
 ・特別活動が充実している
 ・地域の幼保中高との連携がある

保護者・地域は
 ・全I会員が役員として活躍
 ・地域の応援団が多い

本校の教育課題

・自己肯定感の向上
 ・基礎学力の定着
 ・特別支援教育の推進

・自分の言動に責任をもつ
 ・基本的な生活習慣の定着
 ・全教育活動で育む道徳性

・バランスのとれた体力の向上
 ・家庭学習の充実と進んで取り組む姿勢

富士宮第四中学校 学校教育目標：主体的に行動する生徒

学校教育目標：夢をもち、共に学び続ける富丘の子

課題への具体策の改善

- ・職員会議共通理解→アクション
- ・3部会のマスタープランの見直しと提案
(学力向上部会・生活向上部会・健康安全部会)
- ・3部会長による調整会議

Action

Plan



Check

Do

自己評価・他者評価

- ・学校評価の実施と公表(学期)
- ・PTA常任委員会(毎月)
- ・学校評議員会
- ・毎月の振り返り(各部会・学年部)
- ・学力・学習状況調査・学力調査の分析

【評価の視点】	達成目標	1学期	2学期
授業が分かる	90%		
聴き合い・話し合う授業ができる	90%		
家庭学習に進んで取り組んでいる	80%		
本を読むことを楽しんでいる	75%		
進んで取り組める活動がある	90%		
進んであいさつができる	90%		
めあてをもって運動する	90%		

安心・安全な学校づくり

- ・人権意識の向上(傾聴)
- ・アレルギー対応・給食配膳のシステム化
- ・学校安全計画の実施

やさしい子

- ・自信につながる係活動や委員会活動「We can !」
- ・仲間と認め合うコミュニケーションタイム「You can !」
- ・あいさつ「plus 1 !」

ユニバーサルデザインを生かした支援

- ・生活づくり
- ・授業づくり
- ・支援体制の強化

げんきな子

- ・教科体育の充実(運動量+コミュニケーション)
- ・笑顔で始める健康観察
- ・聴いて整える生活習慣(チャイム起立・黙想)



きいて伝える子

- ・コミュニケーションを楽しむ外国語活動
- ・協働や相互作用が生まれる学習活動の工夫
- ・教師と子供がゴールを共有できる単元構想

学校経営目標

「自己指導能力・コミュニケーション能力・創造性とやり抜く力を育む教育の推進」

- ・「自己指導能力」:自分で考え、決め、実行し、振り返る力
- ・「コミュニケーション能力」:相手に伝わるように話す力、相手の考えを理解しようと聴く力
- ・「創造性」:身に付けた知識や技能を関連付けたり活用したりして、新たな方法や考えを創り出す力
- ・「やり抜く力」:目標やゴール、問題解決等に向けて、あきらめずに努力し続ける力

カリキュラム・マネジメント

- ➡ コミュニケーション能力の育成をハブとして、外国語活動と教科、領域等をつなぐ
- ➡ キャリア教育で各学年をつなぐ「けやき学習」「特別活動」・全教育活動で行う道徳教育

地域との連携(横の連携)

- ・地域学校協働事業「富丘小を応援し隊」
- ・地域人材・地域素材の活用
- ・学校便り地域配付
- ・青少年育成連絡会・民生委員と語る会
- ・地域行事(防災訓練・祭りへの参加)

家庭との連携

- ・家族読書
- ・家庭学習の習慣化(低20分 中40分 高60分 発達段階に応じた自主学習)
- ・基本的な生活習慣の定着

園・中・高との連携(縦の接続)

- ・外部専門機関と連携した英語指導力向上事業(国・県・市指定)富丘小、四中、富士宮西高
- ・四中、高校との児童生徒交流
- ・園との交流(ペア活動・職員間研修)
- ・園の運動会手伝い

社会に開かれた教育課程の実現に向けて

チーム富丘

「富丘イズム」: (竹)健全

(や)やいがい

(き)協働

と「働き方改革」